

第2回10月 京大本番レベル模試 (2019年10月14日実施)

採点基準 英語

全体の基準

- *原則として次の基準に従うものとする。各問ごとの追加基準がある場合はそちらが優先される。
- ・原則として減点方式により採点する。
- ・各小問は、全体をいくつかの部分に分けて点数を分配する。
- ・部分ごとに、解答が明らかに未完である場合、その部分については点数を与えない。
- ・同一の誤りが複数回ある場合、減点は原則初出の1回のみとする。
- ・誤字・脱字・スペルミスは、1語につき**マイナス1点**。但し、文字の大小の誤り、句読点・コンマ・ピリオドに関する誤り、iやjのドットの欠如は、原則不問とする。

和訳問題 (第1問・第2問) の基準

- *以下の項目に関して、1点から3点の幅で減点する。
- ・単語の誤訳や文脈上不自然な訳は、1つにつき**マイナス1点**を原則とする。但し、意味・構文上大きな誤りは**マイナス2点**とする。訳漏れの場合は単語の種類によって次を原則とする。即ち、**修飾語**は欠如しても意味・構文に影響が少ない場合、**マイナス1点**。**内容語**と**機能語**は欠如すると意味・構文に影響するので、原則**マイナス2点**とする。

単語の種類	誤訳	欠如
修飾語 (限定形容詞・副詞・冠詞・助動詞)	-1	-1
内容語 (名詞・代名詞・動詞・叙述形容詞)	-1	-2
機能語 (従属接続詞・前置詞)	-1	-2

- ・イディオム・文法・語法・構文の知識不足による誤訳は、単語の誤訳に倣う。文脈の把握ミスによる致命的な誤訳は、1つにつき**マイナス3点**を原則とする。

英作文問題 (第3問) の基準

- *小問ごとに別記の基準がない場合、以下の項目に関して、1点から3点の幅で減点する。
- ・単語の誤訳・訳漏れは、上記和訳問題に同じ。
- ・イディオム・文法・語法・構文の知識不足による誤訳及び適切性を欠く訳は上記和訳問題に準ずる。また、SVOの語順、従属接続詞や前置詞の後置など致命的な構文上の誤りは、1つにつき、**マイナス3点**を原則とする。

配点表			
大問	配点合計	小問等	配点
1	50	(1)	10
		(2)	8
		(3)	20
		(4)	3×4
2	75	(1)	25
		(2)	15
		(3)	10
		(4)	25
3	25	—	25
大問計	150	小問計	150

第1問(1) 配点 10

【基準・配点】

- (1) 次の要素に以下の点を配する。要素の欠如はその配点を減じる。
 (2) 以下に言及のない（誤字などの）ミスは1つマイナス1点を原則とする。

部分	配点	参考
In pretty much every area,	1点	<ul style="list-style-type: none"> • pretty much 「ほとんど, ほぼ」など。訳漏れ(-1) • pretty much every 「多くの」(-1)
a hallmark	1点	<ul style="list-style-type: none"> • 「特徴, 特質, 証明」など可。 • 「ホールマーク」(-1)
of expert performance	1点	<ul style="list-style-type: none"> • expert 「エキスパート, 上手い人」可(-0) • performance 「パフォーマンス」(-1) • performance は「能力」のニュアンスがある訳語であること。これを外れるものは(-1)
is the ability to see patterns	1点	<ul style="list-style-type: none"> • the ability to do を理解していないものは(-1) • patterns 「パターン」可(-0)
in a collection of things	1点	<ul style="list-style-type: none"> • a collection of ~ 「一連の~, ~の集積・寄せ集め」などの訳漏れ(-1)
that would seem random or confusing to people	2点	<ul style="list-style-type: none"> • that が things を先行詞とする関係代名詞と理解していないものは(-2) • seem C to 人の構文を理解していないものは(-2) • random 誤訳・訳漏れ(-1)。「ランダム」としたものは(-1) • confusing 誤訳・訳漏れ(-1)
with less well developed	1点	<ul style="list-style-type: none"> • with ~が直前の people の説明語句と理解していないものは(-1)
mental representations.	2点	<ul style="list-style-type: none"> • mental representations (心的表象) を自分の言葉で言い換えていないもの, 「メンタルプレゼンテーション, 心的表象」などとただ訳したものは(-2) • mental representation の説明に難のあるものは(-1~2)

第1問(2) 配点 8

【基準・配点】

- (1) 次の要素に以下の点を配する。要素の欠如はその配点を減じる。
 (2) 以下に言及のない（誤字などの）ミスは1つマイナス1点を原則とする。

要素	配点	参考
①初心者には （選手の）動きが 混沌である（ように見える）が moving around in a way that to the uninitiated seems a swirling chaos with no discernible pattern	4点	<ul style="list-style-type: none"> ・（選手の）動きに言及がない場合は(-4) ・ a swirling chaos with no discernible pattern 「混沌」, 「パターンがない」, 無秩序などの要素がないものは(-4) ・ the uninitiated 「初心者・未経験者」 抜け(-2) ※ 「一見」 などとして the uninitiated の訳出を避けたもの, 「普通の人」 など「未熟・未経験」のニュアンスに欠けるものも全て(-2)
②パターンがある／ 混沌[無秩序]ではない all a beautifully nuanced and constantly shifting pattern	4点	<ul style="list-style-type: none"> ・ ①と反対の内容になっていれば可(-0)。

第1問(3) 配点 20

【基準・配点】

(1) 次の要素に以下の点を配する。

(2) 以下に言及のない(誤字などの)ミスは1つマイナス1点を原則とする。

① 第1文

部分	配点	参考
We found that	7点	・ We 訳漏れ不問(-0)
the more accomplished players		・ more 抜けは不可(-1)
were much better at deciding		・ much 抜けは不可(-1)
what the player with the ball should do.		・ with the ball 訳漏れは(-1) ・ should 訳漏れは(-1)

② 第2文 (13点)

部分	配点	参考
We also tested the players' memory	13点	・ We 訳漏れ不問(-0) ・ also 抜けは不可(-1)
for where the relevant players were located		・ 部分全体が memory の説明語句と理解できていないものは(-2) ・ relevant の誤訳・訳漏れ(-1)
and in what directions they were moving		・ 部分全体が memory の説明語句と理解できていないものは(-2)
by asking them to recall as much as they could		・ by が「選手の記憶をテストした」につながないものは(-2) ・ ask O to do が理解できていないものは(-2) ・ with the ball 訳漏れは(-1) ・ should 訳漏れは(-1)
from the last frame of the video		・ last 訳漏れ不可(-1)
before it was hidden from them.		・ it が the last frame of the video ではないものは(-1) ・ them が the players ではないものは(-1)

第2問(1) 配点 25

【基準・配点】

- (1) 次の要素に以下の点を配する。要素の欠如はその配点を減じる。
 (2) 以下に言及のない（誤字などの）ミスは1つマイナス1点を原則とする。

部分	配点	参考
Given the subject of this book,	3点	・ Given の意味を正しく捉えていないものは(-3)
it is important that the distinction be explained,	3点	・ it ... that 構文を理解していないものは(-3)
because	1点	
to the true practitioners of precision in engineering,	3点	
the difference between the two words is an important one,	3点	・ one が明らかに difference ではないものは(-3)
a reminder	3点	・ a reminder は同格的に訳しても、分詞構文的に訳しても可。ただし、明らかに前後の繋がりが不自然、または理解が不十分なものは(-3)
of how it is that the English language has virtually no synonyms,	3点	・ how it is that がいわゆる強調構文と理解していないものは(-3)
that all English words are specific,	3点	・ 直前の部分と同格と理解していないものは(-3)
fit for purpose by their often very narrow sense.	3点	・ fit が specific と同格ではないものは(-3)

第2問(2) 配点 15

【基準・配点】

- (1) 次の要素に以下の点を配する。要素の欠如はその配点を減じる。
 (2) 以下に言及のない（誤字などの）ミスは1つマイナス1点を原則とする。

部分	配点	参考
pi can happily be expressed	2点	・ happily は「うまく, 適切に」。 ※「幸せに」は不可(-1)
with accuracy	1点	
to just seven decimal places	1点	
as 3.1415927	1点	・ express ...as となっていないものは(-1)
--this being strictly accurate	2点	・ 分詞構文と理解できていないものは(-2)
because the last number, 7,	2点	・ the number と 7 が同格と理解していないものは(-2)
is the mathematically acceptable way	2点	
to round up a number	2点	・ way to do と理解していないものは(-2)
whose true value ends in 65.	2点	・ whose が a number を先行詞とする関係代名詞と理解していないものは(-2)

第2問(3) 配点 10

【基準・配点】

- (1) 次の要素に以下の点を配する。要素の欠如はその配点を減じる。
- (2) 以下に言及のない（誤字などの）ミスは1つマイナス1点を原則とする。
- (3) 「的を射る」に関連して述べていないものはマイナス10点。

要素	配点
① accuracy は的の中心[狙った場所]に近い (close to the bull's-eye)	5点
② precision は（的から離れていても）銃弾の当たっている場所がお互いに近い (all very close to one another)	5点

第2問(4) 配点 25

【解答例】

・ *habit and custom*

The words habit and custom refer to an established way of doing things. A “habit” is something we do so often that it has become automatic or addictive, like drinking and smoking. You can say that a habit is an individual’s tendency to repeat something. A “custom,” on the other hand, is an action done by most people in a society repeatedly. For example, the Japanese eat soba before midnight on New Year’s Eve. This practice of eating noodles at the end of the year can be seen across the country. The eating of Toshikoshi Soba, or year-passing buckwheat noodle, is one of Japan’s unique customs. (106 words)

・ *ability and talent*

The definition of “ability” is that you have the quality of being able to do something. It is a general term referring to the power to perform a task either physical or mental, whether innate or acquired, either before or after training. On the other hand, “talent” means a special natural ability to do something well. This word is often used in artistic fields, such as music, dancing, acting, painting, sculpting, and so on. Thus, we can say that Wolfgang Amadeus Mozart, who composed his first symphony at age eight, was one of the greatest geniuses in musical history. (99 words)

・ *customer and client*

The words “customer” and “client” have similar meanings, but they cannot necessarily be used interchangeably. “Customer,” which originated from the word “custom,” means a person who buys goods or services to satisfy their own needs and wants at regular intervals. The word “client” can also mean “customer,” but it has a separate definition as someone who receives professional services from people who are accountants, attorneys, architects, and medical professionals. In short, while customers buy the products or services from someone else, clients buy advice and solutions personalized to their particular needs from professionals. That’s why not only a person but also a company can be a client.

(107 words)

【基準・配点】

- (1) 字数指定を著しく超える答案や、著しく不足する答案は0点。
- (2) 与えられた単語以外の組み合わせを独自に考え書いたもの0点。
- (3) 与えられた単語の組み合わせ2組について書いたものはマイナス10点、3組全てについて書いたものはマイナス15点。
- (4) 初めは与えられた単語の組み合わせについて述べていても、他の類語を持ち出したり、まったく異なる話題に切り替えたりして語数を稼いでいるものはマイナス10点。
- (5) 与えられた単語の意味を明らかにとりちがっている場合は1つの単語につきマイナス5点。(最大マイナス10点) なお、2つの単語の意味を逆にとり違っている場合はマイナス5点。
- (6) スペリングミス、文法のミスは各マイナス1点。

第3問 配点 25

【解答例 1】

The definition of the word “community” may not be as easy as you think. In modern society, it has two major meanings: a group of people living in the same area, and a group of people gathering together temporarily for a specific purpose. An example of the former is a shopping district association that promotes its business activities. An example of the latter is a club or group for one’s hobby or social activity, which may also include currently active fan sites on the Internet.

【解答例 2】

How you define the word “community” might not be as simple as is generally thought [assumed]. This word gives [offers] two main meanings in today’s society [world]. One is a group of people who live in the same area, and the other is a group of people who get together for a specific temporary purpose. The former example is a shopping street association, which helps to promote their [its] business activities. The latter examples are clubs or groups [organizations] focusing on hobbies or social (contribution) activities. These [They] can [could] also include Internet fan sites that have become active in recent years.

【基準・配点】

- ・減点は、配点を超えない（他の部分まで減点は及ばない）ものとする。
- ・スペリングミス、文法のミスは各マイナス 1 点。

① 第 1 文 (4 点)

部分	配点	参考
「コミュニティー」という言葉の	1	・「言葉・単語」がないものは(-1)
定義は、	1	
一般に思われているほど	1	
簡単ではないのかもしれない。	1	・「かもしれない」訳漏れ(-1)

② 第 2 文 (4 点)

部分	配点	参考
今日の社会において、	1	・「社会」訳漏れ(-1)
この言葉は	1	
大まかに	1	
2つの意味を表している	1	

③ 第 3 文 (3 点)

部分	配点	参考
(1つは) 同じ地域に住んでいる人の集まりで、	1	
(もう1つは) 特定の目的のために	1	
一時的に集まる人々の集団である	1	

④ 第4文 (5点)

部分	配点	参考
前者の	1	・ the former の the 抜け(-1)
例は	1	
商店街組合で、	1	
商業活動の振興を	1	
支援している。	1	

⑤ 第5文 (8点)

部分	配点	参考
後者の例は	1	
趣味や	1	
社会的活動を行う	1	
クラブや団体で、	1	
(これには) 昨今活発な	1	
活動をしている	1	
インターネット上の	1	
ファン・サイト(fan site)も	1	
含まれるだろう。	1	